

## 勉強していますか？

新年度が始まって一ヶ月が過ぎようとしています。学校での勉強はしっかりとやっていますか？  
自宅で予習や復習はやっていますか？ 年度当初の学習姿勢は後まで響きます。ここでしっかりした姿勢をつくって下さい。当たり前ですが、勉強は皆さんの進路を切り開く上で、最も重要な土台となります。厳しい言い方をすれば、勉強をやらない学生は、学生ではありません。学生を止めなくてはなりません。そんなことを言われぬように、また勉強しろと親や先生から言われる前に自ら進んで勉強をする姿勢を身につけて下さい。今回は勉強についての特集です。

### 1. 勉強はまずけじめが大事

当たり前ですが、学習には**集中力**が必要になります。その時、重要なのは**切り替え**です。休み時間の延長のまま授業に入ったら、あるいはスマホのゲームのことが気にかかったまま、家の机の前に座ったら、集中はできません。これは勉強に限らないことです。あることからあることへ、やっていることを変える場合には、切り替え＝けじめとメリハリがとても重要です。

まず、皆さんにすぐにやってほしいこと。

**チャイムが鳴った時には、机に座って、目の前には勉強道具がすべてそろっていること。勉強する切り替えができていること、です。**

ほとんどの人は出来ていることだと思いますが、こんな当たり前のことが出来ない人がいます。そんな少数の諸君は、まず周りの迷惑になっていることに気づきましょう。学校での勉強は集団学習です。そんな少数の諸君のために、周りの集中力がそがれてしまいます。ですから、授業中の授業に関係ないおしゃべりなど論外。おしゃべりしたかったら、別の場所でたっぷりやって下さい。

### 2. 目的をもって勉強しよう

多くの先生が、授業の最初に今日は〇〇をやります、と言うと思います。各時間、1時間で今日は何を学んだろう、何を覚えるんだろう、今日はこれをしっかり覚えてゆこう、と意識することも集中力を計る上で大事なことです。何となく漠然と授業を受けると、眠くなったり、集中力が途切れてきます。授業の全部でなくてもいいですから、今日はこれを覚えたと後で言えるようにしておきましょう。

その意味で、

**ノートはただ板書を写すのではなくて、覚えたことが、後で自分でもはっきり分かるような工夫をしましょう。**

### 3. 勉強にえり好みは大敵

教科の得意・不得意や好き嫌いのあるのは仕様がないうことです、嫌いな教科を避けてしまうのは、命取りです。嫌いな教科だから、むしろ一生懸命やろうという気持ちが大事。進みたい学科や学校には、必ず自分の不得意教科が試験等に入ってきます。その不得意を放っておくと、せっかく得意教科を伸ばしても大変なマイナスになってしまいます。

例えば、A君は数学が得意で一生懸命取り組んで平均60点のところを90点取ったとします。でも、英語が苦手、勉強せずにいたら、平均60点のところ20点しか取れませんでした。C君は数学は得意なので、勉強をあまりしなくても平均60点のところ80点取れました。英語は苦手なので、とにかく力を入れてやったら何とか平均60点のところ50点取れました。さて、どちらが結果的に良かったでしょう。計算しなくても分かりますね。

### 4. 自宅学習をしないと、学習内容は定着しないし、応用力は身につかない。

よく、やっても忘れてしまう、という言葉聞きます。それは当たり前で人間は忘れる動物だからです。じゃあ、忘れないためにはどうすればいいのでしょうか。

**簡単なこと、復習することによって、忘れなくなるのです。**

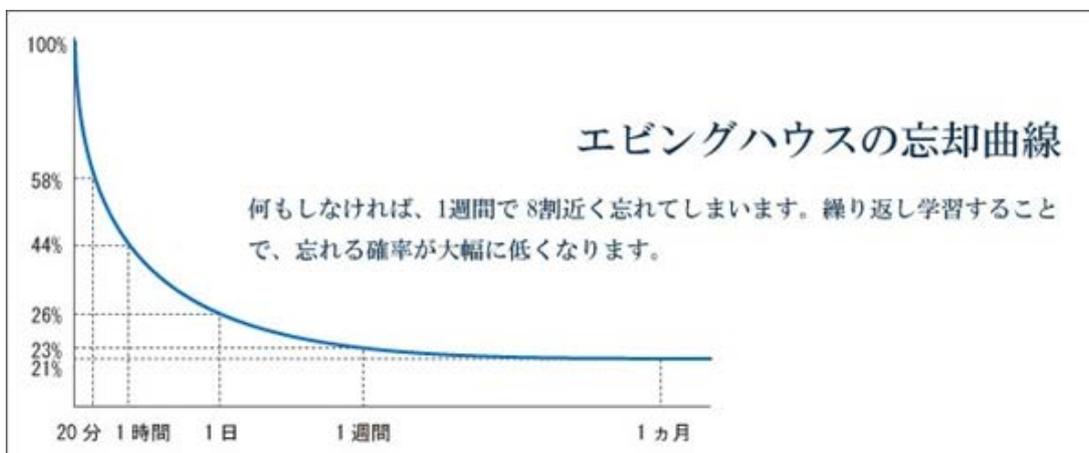
ただし、何度も復習しなければ、学習内容は定着しません。授業で復習し、自宅で復習し、テスト前に総復習することによって、確かな知識として定着するわけです。

さらに、できたら予習ができれば、もっと完璧になります。授業内容をあらかじめ自分で理解しようとする。当然、分からないことが出てくる。疑問が生まれる。それを解決しようとする、考える力が生まれます。それが応用力につながるのです。

予習—授業—復習は勉強ができるための黄金のサイクルだとも言えるのです。

自宅学習をしなければ、本当の力はついてきません。やっていない人は今日からでも始めましょう。

予復習の必要な教科を5教科で挙げると、予復習：数学、英語　復習重視：国語、理科、社会になります。



特に3年生諸君に向けて

## 5. 受験勉強って何だろう

受験勉強は特別なものだと考えている人もいますが、決して普段の勉強から遠く離れたものではありません。

**受験勉強とは、まず基礎力を身につけることです。基礎力がしっかりと身につけば、試験問題の半分以上がとれます。**

難しい模試であっても、その半分近くは基礎内容を元にして作られています。例えば、数学の模試で小問集合（計算問題）と言われる部分ができれば、それだけで偏差値50近くまで行ってしまいます。

それでは基礎力とは何でしょうか？

- 1) むだん授業でやっている学習内容をしっかりと身につけること
- 2) もし自分の弱いところがあったら、中学校の内容までもどってもやり直すこと。

理想的に言うと、受験基礎力は8月の夏休みまでに仕上げてほしいところです。

だから、昔から「夏を征す者受験を征す」と言われているわけです。

## 6. 塾は上手に利用すべし

塾はたいへんお金がかかります。お家の人から塾を薦められる場合や自分から選ぶ場合は高い授業料を無駄にしないでほしいものです。

まず、どんな塾選びでもそうですが、学校での授業が中心です。学校の授業を100%身につけないで塾だけに頼っても、決して良い結果が生まれないことは肝に銘じておきましょう。塾だけやって学校の勉強を疎かにしている人で成功した例は聞いたことがありません。

## 7. 看護系以外の専門学校進学者は勉強しなくてもいい？

という勘違いをしている人が中にいますが、

**専門学校は行ってからが大変です。たった2年間で資格取得や技術を習得するわけですから、どんな専門学校でも高校時代の基礎的な教養は大きな土台となります。**例えば、公務員予備校とも言える上田情報ビジネス専門学校を考えている諸君も多いと思いますが、現役合格をするつもりで勉強した諸君が入って、始めてついて行けます。高校時代に勉強しておかなくて進んだ諸君は現在、ついて行けなくて音をあげているようです。これはその他の専門学校でも当てはまることなのです。専門学校こそ、高校時代にしっかりと勉強しておくべきでしょう。